

早稲田大学 教育学部 数学 講評

〔総合分析〕

出題形式	記述式
試験時間	120分
特徴・その他	

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
1	(1)整数問題	各整数について何回2で割り切れるか、実際に調べることで予測できる。	標準
	(2)媒介変数表示の曲線と面積		標準
	(3)一次変換による点列の極限	回転により原点からの距離は不変であるが、 $2/3$ 倍により $A^n \rightarrow 0 (n \rightarrow \infty)$	標準
	(4)線分の長さの和の最大値	2本の線分について長さの和は交点を持つときのほうが、より長いものになる。	やや難
2	微分による不等式の証明， 数学的帰納法	$f' > f$ から f が単調増加であることが分かる。	標準
3	法線が定点を通る本数		標準
4	一次変換と平行移動	一次変換 A については $A^2 = E$	標準

〔総合コメント〕

<p>頻出問題の2, 3は完答したい。1については整数に関する問題で詰まると時間が足りなくなる。昨年よりもやや難化。</p>
--